

「退けられた サウル」

2026.1.14

聖書に学ぶ 30

I サムエル記 15:1～35

私たちは I サムエル記を通して、主なる神様が立てられたサムエルとイスラエルの最初の王サウルについて見てきました。そして今回「主も、サウルをイスラエルの王としたことを悔やまれた」(Iサムエル記 15:35) と、悲しい主のみことばを聞くことになってしまいました。

人としてのサウルは、王として頑張っていました。しかし何が神様を悲しませたのでしょうか。どうすれば良かったのでしょうか。一緒に考えてみましょう。

今日の学びの要点

人間は罪人で、多くの失敗を犯します。しかし人を気にして、自分の立場を守ろうとするのか、人ではなく神様の前に生きようとするかによって、全く違う生涯を送る事になります。心を開いて罪を悔い改め、いつもキリストの救いの道を歩みましょう。

I、アマレクを撃ったサウル

(Iサムエル記 15:1～12)

1、今までのサウルの歩みを見てみましょう。

- ・ 9 章～10 章：イスラエルの王に選ばれたサウル
- ・ 11 章～12 章：アンモン人に勝利し、ペリシテ人にも勝利したサウル

2、アマレク人との戦いについて、調べてみましょう。

- ①主からのみ言葉によって、アマレク人を撃つことになりましたが、その理由は何でしょうか。(Iサムエル記 15:2,3)
- ②主なる神からの命令ですから勝利は決まっています。勝利の後はどうするように命じられていますか。(Iサムエル記 15:3)
- ③ヨシュア記で、エリコとの戦いの時、同じように命じられました。(ヨシュア記 6:18)
 - ・ 民の中の命令を守らない者により、どうなったでしょうか。(ヨシュア記 7:2～5)
 - ・ 主の命令を軽んじ、罪を犯した者はどうなりましたか。(ヨシュア記 7:15、24～26)

3、主の命令を軽んじたサウル

①アマレク人との戦いで勝利したサウルは何をしたのでしょうか。（Ⅰサムエル記 15:7～9）

②主からサウルの背きを知らされたサムエルは、どうしたのでしょうか。
（Ⅰサムエル記 15:11）

Ⅱ、失敗したときの、主の前の態度 （Ⅰサムエル記 15:13～35）

1、人は愚かで失敗するものですが、その時どうするかで、その後の歩みが決まってきます。サウルとダビデとの違いをみましょう。

サウル← サムエルに罪を指摘された
（Ⅰサムエル記 15:14）

①罪に対して…

Ⅰサムエル 15:15 = ごまかそうとした。

Ⅰサムエル 15:21 = 民のせいにしようとした

②恐れている相手は誰ですか。

Ⅰサムエル 15:24 = 民とサムエル

③この後神様はどうされましたか。

Ⅰサムエル 15:28 =

ダビデ← ナタンに罪を指摘された
（Ⅱサムエル記 12:7～10）

①罪に対して…

Ⅱサムエル記 12:13 = すぐに罪を認めた

詩篇 32:1～5 = ナタンに言われる前から
罪に苦しんでいた

②恐れている相手は誰ですか。

詩篇 51:1 = 主なる神

③この後神様はどうされましたか。

Ⅱサムエル記 12:13 =

2、ダビデは詩篇 51：17 に、神様は罪人の砕かれた心、悔いた心をどのように見てくださると言っていますか。

3、新訳に生きる私たちに、主イエス・キリストはどのようにして下さったのでしょうか。（Ⅰヨハネ 1:7～9）